

造形教育研究会アトリエちびくろ

概要

造形教育研究会アトリエちびくろは、50年以上続く本学公認サークルです。月に一回程度、東京の小学生と一緒に工作を主とした活動を実施。今年の6月はダンボールを素材としたタコの足を作り、タコ形決戦兵器を作りました。

現在は、約60名の学生が在籍。ちびくろの活動および企画運営は、すべて学生のみで行なっています。小学生たちとの活動に向けて、週2回の部会を実施。プログラムの世界観やタイトル決めに始まり、企画内容の具体的な検討や、工作の試作などに取り組んでいます。

また、春と夏の年2回、茨城県笠間市岩間町で図工教室を開き、地元の小学生が多数参加しています。図工教室の期間、学生は廃校となった小学校（岩間第一分校）に1週間ほど滞在し、2日程度子どもたちと活動を行います。また、分校では、台所のコンロを除く全ての火の元は薪・かまどを使うなど、現代ではほとんど利用する機会のない設備を使って生活します。

基本情報

担当教員学科	—	連携先など関係者の人数	小平市の小学生 約20名 笠間市の小学生 約30名
担当教員氏名	—	参加学生の学年	学科の制限なし
本学公認サークルとして活動。現在の顧問は三澤一実（教職課程教授）		主な連携先	茨城県笠間市
プロジェクト実施期間	1971年～	プロジェクトの実施拠点	東京都小平市（武蔵野美術大学内） 茨城県笠間市 体験学習館「分校」
参加学生の学科	学科の制限なし	参加学生の人数	2025年度 58名

プロジェクト全体の関係図

